

しまねろうふく

2011.1
Vol.376

「雲海と日の出」(浜田市)



年頭のあいさつ

鳥根県労働者福祉協議会

会長 大崎 康弘

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年一年間、会員及び関係者の皆様に支えられ、様々な活動が展開できましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、「生活が第一」の政権公約を掲げる民主党を中心とする政権与党には、様々な逆風はあるものの、格差の是正・生活の向上・地方の再建など、政権交代当初の期待をしっかりと受け止めた政権運営を望むものです。

こうしたなかで、働く者・住民の生活の向上・福祉の向上のため活動している私たち労福協として、安心・安全な生活が営まれる地域社会の構築に向け、ライフプランセミナーや「くらしサポートセンター鳥根」の相談活動、及び地域貢献活動など、様々な活動を実施してきました。

本年は、「新たなビジョン」を作成しその考え方を皆さんと共有しながら、活動を展開していくとともに、法人化については5月の総会に向け、より一層の具体化を図ってまいりたいと思っています。

「存在感のある」「労福協ならではの」活動を展開するため、関係機関・団体の皆さんと連携し、本年も精一杯取り組む所存であります。

会員・関係各位のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。皆様のご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。



地区会長

2011年の決意 謹賀新年



江津

野海 修二

新年あけましておめでとうございます。

依然として厳しい経済情勢や社会不安、さらに追い討ちを掛けるがごとくの円高。勤労者の生活への不安は一層高まるばかりです。勤労者が正当に報われる「福祉型社会」の実現に向け、労福協・労働組合・事業団体が一体となり地域に根ざした活動を展開していきましょう。

会員各位の積極的な行動を、よろしくお願い申し上げます。



大田

飯田 徹

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、依然として厳しい雇用、経済情勢、閉そく感がただよう日本社会の現状にあって、労働者福祉の向上を目指す労福協の役割と責任は、益々大きくなるものと思います。地区労福協といたしましても、引き続き会員の皆様とともに、地域の福祉向上のため頑張っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

隠岐

平田 芳春

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

隠岐地区では、地域が抱える問題は自分たち自身の問題であるという観点から、地域の中で積極的に事業を展開しながら、活力あるまちづくりに貢献できるよう取り組んでまいります。



益田

吉岡 勝弘

明けましておめでとうございます。

さて、私たち勤労国民を取り巻く環境は、国の財政破たんの影響を生活と福祉に引き寄せ、ますます厳しい状況となっております。

勤労国民が手を取り、勤労者の生活防衛と福祉の向上のため、今年もがんばりましょう。



浜田

戸津川 美二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様並びにご家族のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

さて、私たち勤労者を取り巻く雇用をはじめとした社会経済情勢は、依然厳しい状況が続いています。私たちが目指している「労働者を中心とした福祉型社会」を一日も早く実現できるよう労働組合・事業団体・労福協が一体となって地域に密着した取り組みを行っていかねばなりません。引き続き、浜田地区労福協への活動にご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。年頭のあいさつとします。ともに頑張ります。





労働者福祉中央協議会 会長 笹森 清

新年明けましておめでとうございます。

今年こそ、生きることに希望がもてる社会への扉を開く年にしたいと思います。「貧困の連鎖」「無縁社会」、3万人を超える自殺者・・・こうした現実と真正面から向き合い、人と人との絆の再生・地域の活性化、本当に困った人たちのためになる運動、社会改革につなげていけるか、私たち労働者福祉運動の真価が問われています。

中央労福協は、これからも幅広いネットワークとの協働で、「必ず答えを出す運動」、すべての勤労者の地域での拠り所となる活動に着実に取り組んでいきます。

2012年は国連が定める国際協同組合年です。協同組合が「新しい公共」としての役割を積極的に担い、社会的存在感や価値を高めていくチャンスです。また、労働組合と協同組合が、車の両輪としてともに運動するという関係づくりも進めたいと思います。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって、ともに前進しましょう！



松江

大原 康史



新年あけましておめでとうございます。

今年も会員同士の交流の場や学習会そして親子のふれあいの場が提供できる行事に取り組んでまいります。会員の皆様が明るく楽しく暮らせることをモットーに労働者福祉に関わる課題の改善に全力で取り組みます。

安来

糸原 一志



新年あけましておめでとうございます。

安来地区の今年の最も大きな事業として、ろうきん安来支店の移転新築に伴うキャンペーンがあります。イベントなどのキャンペーンを通じて、ひとりでも多くの会員さんに関わっていただき、これまで以上に会員の方々に愛される労福協やろうきんを目指していきます。

雲南

細木 勝



新年あけましておめでとうございます。

雲南地区労福協では、スポーツ交流会や労働者福祉研修会、労金ふれあいイベント、労済空き缶積み上げ大会など、会員相互の親睦を深める活動を行っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

出雲

広沢 寿志



新年あけましておめでとうございます。今年も会員の皆様にとって実りある一年となることをご祈念申し上げます。

さて、勤労者を取り巻く社会経済環境は、依然として先行き不透明な状況が続いています。少子高齢化の進展による国内労働力人口の減少は、年金・医療などの社会保障制度の根幹を揺るがしています。さらに雇用環境の悪化により勤労者の生活設計への不安は高まるばかりです。

このようなときこそ「人と暮らし環境にやさしい福祉社会」の実現を目指していくことが労福協に求められている使命です。労働団体・事業団体・労福協が三位一体となり、「助け合い」を原点とし、地域に福祉活動のセーフティネットを張り巡らせる必要があります。地域で働くすべての人々と家族の「暮らしの安心と幸せづくり」という労福協活動の基本を大切に、会員一人ひとりが積極的に活動に参加して行きましょう。

邑智

原 拓矢



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様のおかげで平成22年中の行事が無事進めることができました。ありがとうございました。まだまだ、激動の社会情勢が続いており、地域も不安をもって暮らしています。

会員のみなさんの元気で地域を盛り立ていただければ幸いです。平成23年も労福協は労働者の福祉向上に努めていきます。益々のご支援、ご協力をお願いして年頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

西部労福協第29回研究集会参加報告

西部労福協第29回研究集会が11月11・12日の両日高知県高知市にて開催されました。

研究集会には中四国の労福協関係者98名が参加し、主催者を代表して西部労福協の安田会長は研修会のテーマ「能馬・新時代へのスピリッツ」になんで「坂本龍馬をはじめとする幕末の志士たちは命をかけて新しい日本づくりを行った。新時代を拓いた志士たちの精神と行動を単なるヒーロー物語に終わらせるのではなく、今を生きる私たちの糧として労福協の活動に連鎖しましょう。」と挨拶をされました。また、開会祭を代表して高知県労福協の岡村会長は「地域経済が疲弊していく中、高知県の経済・財政指標も全国ワースト3となっている。現代に龍馬のような人がいないことが、現代人の根本健康へのあこがれに拍車をかけているのではないか。」と挨拶をされました。

また、来賓として、高知県県工労部の高松部長、高知市の安藤副市長から、「雇用対策強化、特に若年・新卒者の雇用確保など「行政の取り組み」と労働者の立場からのアプローチとして「労福協の取り組み」をミックスしていくことが重要であり今集会を実現あるものとしていただきたい」と挨拶を受けました。

研究集会では、1日目は高知県立坂本龍馬記念館の森健志館長から基調講演をいただき、その後、広島県労福協の河井副会長から「第42次欧州労働情勢報告」の報告を受けました。2日目は歴史探訪として、高知県立坂本龍馬記念館の視察を行いました。

2010年度 ライフプランセミナー（報告）

今年で9年目を迎えました県労福協主催「ライフプランセミナー」は、11月7日に西部会場（川本町）を皮切りに、11月14日に中部会場（出雲市）、11月21日に東部会場（松江市）で催し、総数133名の参加者を頂き開催しました。

このセミナーは「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、島根県、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県経営者協会、山陰中央テレビジョン放送（株）、中国労働金庫島根県営業本部、全労済島根県本部、（財）県東部勤労者共済会、（財）県西部勤労者共済会など、多くの各団体の皆様方並びに参加者の皆様方にご協力を頂き、お陰様で滞りなく成功裡に終了することができました。

尚、参加者の皆様方から頂きましたアンケート結果は、以下の通りであります。今後は、皆様方より頂きました声を反映できるよう努めて参ります。

※回収枚数 108枚 回収率 90.0%

※参加者 男性64.8%・女性33.3%

※年齢 1位は50代 59.3%、2位は60代 15.7%・40代15.7%

※職種 1位は製造業25.0%、2位はサービス業16.7%、3位は公務15.7%

※満足度については、「満足している・不満な点もあるが概ね満足している」で87.1%、「参加したきっかけ」については、労働組合・互助会、勤労者共済会ニュース、新聞となっています。

西部
会場



出雲
会場



松江
会場



2010年度 ライフプランセミナー アンケート集約

会 場			川 本 会 場	出 雲 会 場	松 江 会 場	全 体	
開 催 日			11月7日	11月14日	11月21日		
参 加 者 数	一 般		17	37	56	110	
	(内 訳)	セミナー1	2	1	7	10	
		セミナー2	0	5	9	14	
		同 方	15		40	86	
		地区労働協	5	3	2	10	
		県労福協	2		2	7	
		講 師	2	2	2	6	
	合 計	26	45	62	133		
アンケート	対象枚数（一般+地区）		22	40	58	120	
	回収枚数		18	37	53	108	
	未回収		4	3	5	12	
	回収率		81.8%	92.5%	91.4%	90.0%	

川本会場

男性

- セミナーで使用したファイル等、可能ならばホームページでダウンロードできるようにしてみたい。
- 今後も引き続き開催して下さい。労働協の活動状況を知らりたい。
- 労金が年金の受給申請や確定申告のお手伝いなどを行っていることを知らなかった。

女性

- 定年までは、まだ期間がありますが、色々とお話をお聞きして参考にしたい。ありがとうございました。
- 今後（老後）に向けて考えるいい機会になりました。ありがとうございました。
- このような研修会などが行われていることをはじめて知りました。この他にもいろいろ企画があれば知りたいと思いました。

出雲会場

男性

- 内容は良く分かりましたが、もう少し時間をとっていただき、ゆっくりと説明してもらった方が分かりやすいかなと思いました。今後の参考になり、大変良かったと思います。機会があれば、次回も参加したいと思えます（制度改正になったり内容が複雑なもので）
- 具体的な個別ライフプラン設計の相談先をお教えしてほしい。
- もっと若いときに来ておいたら良かった。

女性

- 決まり切ったことでなく、退職年金をもらうのに子供がない場合のポイント等、何卒どうだろうか。どこでもらうものか。どう違うのかを知りたい。年金をより多くもらうには、どのような注意点が有るか等。
- 各種控除減免の方面を知りたかった。
- 講師の方も再三言っておられたが、資料が古くないでしょうか？（数字は信じられるか）結局、個々の収入の違いで分からない部分が多かった。あくまでも自己責任であることは分かった。毎年参加してもよいのでしょうか。

松江会場

男性

- 時間設定を午前を埋めて、セミナー1,2を受講できることが望ましいです。9:30～12:30など。
- 量をはさんでの開催であれば、弁当を出しては？もしくは、希望者への弁当注文の発注で自己負担しても良い。
- シュミレーション、制度の手続き等上手な運用を多く盛り込んだセミナーを希望します。

女性

- 税金についての説明が聞きやすかった。年金等の手続きについては、実際の書式の見本などがあると分かりやすかった。話を聞くだけでなく、自分で実際に計算してみようという時間があると頭に入りやすいと思う。
- ライフプランについて、はじめに考えるきっかけをありがとうございました。
- 主人の退職後の保険の入り方が気がかりでした。もっと早い年代の時に参加させてもらえば良かったと思います。とてもありがたかったです。

県知事への要望書を提出！！

11月9日、11時より県庁（副知事室）において、県知事への要望書を提出しました。

要望書の提出にあたっては、県労福協から大崎会長をはじめ6名が出席し、県より副知事をはじめ6名の皆様方に対応していただきました。

要望書は県労福協幹事会で取りまとめた労働者福祉の向上に関する6項目の要請事項に整理し、2011年度予算編成及び、県政への反映を求める内容としています。

＝内容の詳細については、しまねろうふく2011年3月号に掲載します＝



『地SUN地SHOW祭り』でNPOを紹介



松江地区労福協・労金部会
2010年10月31日(日)
松江市：くにびきメッセ



地SUN地SHOW祭り

松江地区労福協労金部会は、10月31日(日)に開催された連合島根第27回地SUN地SHOW祭りで、昨年に続き、松江市を拠点として活動するNPO法人2団体を紹介しました。

今回は竹を材料に「一輪挿し」作りに挑戦する「ものづくりコーナー」も設け、親子連れを中心に多数の参加者でにぎわいました。



『労働運動とNPOの協働を考える』シンポジウムのご案内

～人々が喜びをもって共生できる社会の実現をめざして～

第7回中国ろうきん島根県推進機構代表者集会

2011年2月17日(木) 13:00～

松江 東急イン(JR松江駅前)

13:00 開 会

13:15～13:35

◆中国ろうきんNPO寄付システム 寄付金贈呈

13:40～15:10

◆基調講演 「労働運動とNPO」

講師 笹森 清 氏(中央労福協会長)

15:15～15:45

◆活動報告 「八雲むらプロジェクト」

松江市職員ユニオン

15:50～17:10

◆パネルディスカッション 『さて、何から始めようか?』

パネリスト

- ・松江市職ユニオン(八雲むらプロジェクト)
- ・景山 誠 氏(県推進委員：労金講師団講師)
- ・勝部 加代 氏(NPO法人 まごころサービス松江センター理事長)
- ・樋口 和広 氏(ふるさと島根定住財団)
- ・笹森 清 氏
- ・毎熊 浩一 氏(島根大学 法文学部 准教授)

コメンテーター

コーディネーター

17:30～19:30

◆交流会 参加NPOの活動紹介 (交流会参加料 1,000円)



笹森 清 会長

お問合せ 中国労働金庫島根県営業本部 Tel 0852(27)1600

全労済

退職準備世代 保障セミナーを開催

～60歳になるまでに考えること～



全労済では、退職後に、より豊かな暮らしをしていただくためには、どのようなことに注意して保障設計を組み立てたらよいか。を在職中に、ご夫婦で考えていただく機会となればとの思いで、「退職準備世代保障セミナー」を、県内三ヵ所（浜田・出雲・松江）で開催しました。

セミナーは、サブタイトル「60歳になるまでに考えること」をもとに、保障設計を考えるにあたって、私たちの生活の数多くのリスク（不安）を確認し、そのうえで、社会保障（年金・健康保険）などのしくみを紹介し、退職後のライフプランにおける「保障計画（せいめ



い保障・医療保障）」の重要性について確認することができた内容でした。

当日は、ランチタイムも設け、ご夫婦で語り合っていたきなどやかなセミナーとなりました。

参加された皆さまからは、「退職に向け不安であったが、この機会にこれからの人生を考えていきたい。」「これまであまり関心をもっていなかったが、このセミナーがよい機会となりました。」など多くの反響を呼びました。



■プログラム

10:00～	受付
10:20～	開講式
10:30～	60歳になるまでに考えること
12:30～	ランチタイム
13:30～	保障相談（希望者の個別相談）

■参加状況

会場	開催日	時間・場所	参加人数
浜田会場	2010年 11月21日(日)	時間 10:00～14:00	14組
		場所 浜田ワシントンホテル	30人
出雲会場	2010年 11月28日(日)	時間 10:00～14:00	16組
		場所 ニューウェルシティ出雲	31人
松江会場	2010年 12月19日(日)	時間 10:00～14:00	24組
		場所 ホテル一畑	65人



安心の笑顔のそばには、
いつも全労済があります。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

島根県民のしあわせづくりのため果敢にチャレンジします。 会員各位のご活躍とご多幸を祈念します。



中国労働金庫島根県営業本部

本部長 遠藤 渡



ろうきんの理念に掲げる「人々が喜びをもって
共生できる社会」の実現に向けて、会員の皆様
とともに中国ろうきんは取り組みます。



全労済島根県本部

本部長 浅沼 延夫



これからも組合員の皆様から信頼される活動を
展開してまいります。



連合島根 会長
しまね・さわやか生涯福祉センター 理事長
島根県中央労働福祉センター 理事長



矢倉 淳

県内で働くすべての労働者の連帯で、「労働を
中心とする福祉型社会」をめざして頑張ります。
本年もご支援ご協力お願い申し上げます。



島根県生活協同組合連合会

会長理事 鎌田 憲男



ふだんのくらしや地域社会において、生協がど
んな役割を果たして行けるのかを常に考え、努
力を続けます。

編集委員

監事

事務局次長
幹事

副会長
会長

桑谷定良 中国労働金庫
南木憲治 県労福協
竹下陽子 県労福協
周藤新市 県労福協
神門 至 県労福協

景山 誠 連合島根
川野英樹 連合島根
平田芳春 地区労福協
岩本辰彦 地区労福協
戸津川美二 地区労福協
原 拓矢 地区労福協
野海修二 地区労福協
飯田 徹 地区労福協
広沢寿志 地区労福協
菅田和美 地区労福協
梶川義雅 地区労福協
松本 均 地区労福協
土井正明 連合島根
唐橋辰史 連合島根
小村元二 連合島根
宇都宮克明 連合島根
佐藤伸廣 連合島根
山縣泰枝 さわやか
大原康史 県生協連
鎌田嘉男 労働会館
川辺 修 全労済
周藤新市 幹事会
神門 至 幹事会
永島修司 連合島根
堀内幹夫 連合島根
福島秀紀 連合島根
仲田敏幸 連合島根
岩田 学 連合島根
矢倉 淳 連合島根
浅沼延夫 全労済
遠藤 渡 中国労金
大崎康弘 幹事会

本年も宜しく
お願い申し上げます。

